

第3回平和島駅周辺地区グランドデザイン専門委員会議事要旨

日時：令和6(2024)年10月3日(木) 14:00~15:00

場所：大田区役所本庁舎9階 901会議室

委員：二井 昭佳 国士舘大学 理工学部まちづくり学系 教授

佐瀬 優子 法政大学 デザイン工学部都市環境デザイン工学科 教育技術嘱託

池田 中 鉄道・都市づくり部長

西山 正人 まちづくり推進部長

遠藤 彰 都市基盤整備部長

1 開会

2 平和島駅周辺地区グランドデザイン本編(素案)について

事務局より資料1を基に説明

2章 平和島駅周辺地区のまちの現状と課題について

(委員) P.7およびP.8の図に重ねてある赤丸が何を示しているのか記載する。

(委員) P.9のpoint5「大規模公園等への案内が不足している」をサインがあってもスムーズに移動できない、物理的にアクセスしづらいといった表現に修正する。

(委員) P.10のpoint10「バス停留所が視認性が低く～」は「位置が分かりにくい」または「駅から離れている」という表現のほうがわかりやすい。

(委員) P.11のpoint13で使われている「狭あいな道路」というフレーズはやや専門的な表現のため、「狭い道路が多い」などの表現がよい。

(委員) P.11に美原通りの写真が掲載されているが、将来像に「東海道の風情」というフレーズが使われているため、東海道の風情が感じられるような写真に差し替えた方がよい。

3章 まちの将来像

(委員) 「自分らしくいきいき」の「いきいき」は削除してよいのでは。

(事務局) 将来像は「東海道の風情と浜風を感じ 未来に向けて自分らしく過ごせる平和島」で確定する。

4章 まちづくりの基本的な方針と具体的な取組について

(委員) P.18方針別取組1-④「ゆとりある空間によるにぎわいの創出」は「ゆとりある空間とにぎわいの創出」に、1-⑤「限りある都市空間の利活用による魅力の向上」は「限りある駅前空間の利活用による魅力の向上」に修正したほうがよい。

(委員) P.21基本方針3「回遊性の向上」の取組は全体的な取組、部分的な取組の順に記載した方が読みやすい。例えば1ページ目に取組②⇒①⇒④の順に記載して、2ページ目に③⇒⑤の順に記載することが考えられる。

(委員) P.24ユニバーサルデザインは誰もが使いやすいデザインという意味であるため、

方針5-②の「高齢者、障がい者及び来街者」に「誰もが」といった表現を含めた方がよい。

(委員) P.27 のロードマップの各方針に対応している色がそれまでのページで使われている色と若干異なっている。文字を白抜きにするなど修正したほうがよい。

3 スケジュールについて事務局より説明

4 パブリックコメントの実施について事務局より説明

以上